

福井国体・障スポの成果



福井しあわせ元気国体 2018

第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年) 9月29日(土)～10月9日(日)

福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年) 10月13日(土)～10月15日(月)



1 全体

競技成績

〔国体〕 男女総合成績(天皇杯) 第1位 2,896点 2位 東京都 2,246点
 女子総合成績(皇后杯) 第1位 1,462.5点 2位 東京都 1,280.5点
 〔障スポ〕 計130個のメダルを獲得(金46個、銀42個、銅42個)

・H29愛媛障スポでの本県獲得メダル数 23個
 ・福井障スポで、初めて団体メダルを獲得

参加者数(確定値)

国体・障スポ合わせた参加者数が約70万人

(単位:人)

	区分	選手・監督	大会関係者	観覧者	計
国体	総合開会式	3,732	12,068	9,544	25,344
	総合閉会式	1,526	6,380	7,124	15,030
	正式競技	82,100	91,898	342,969	516,967
	特別競技	757	3,387	19,978	24,122
	公開競技	2,226	963	1,730	4,919
	デモスポ	11,376	2,225	5,103	18,704
	計	101,717	116,921	386,448	605,086
障スポ	開会式	3,420	9,686	10,802	23,908
	閉会式	5,393	6,622	6,255	18,270
	正式競技	14,839	15,795	25,416	56,050
	オープン競技	549	370	466	1,385
	計	24,201	32,473	42,939	99,613
合計	125,918	149,394	429,387	704,699	



2 開・閉会式の開催

入場行進

力強く入場する福井県選手団



国体総合開会式



障スポ開会式



2 開・閉会式の開催

式典演技「アスリートたちへ贈る賛歌」

全国から福井に集まった選手にエールを贈る



国体総合開会式 式典演技フィナーレ



2 開・閉会式の開催

歓迎県民イベント

福井の魅力が集まったパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げ



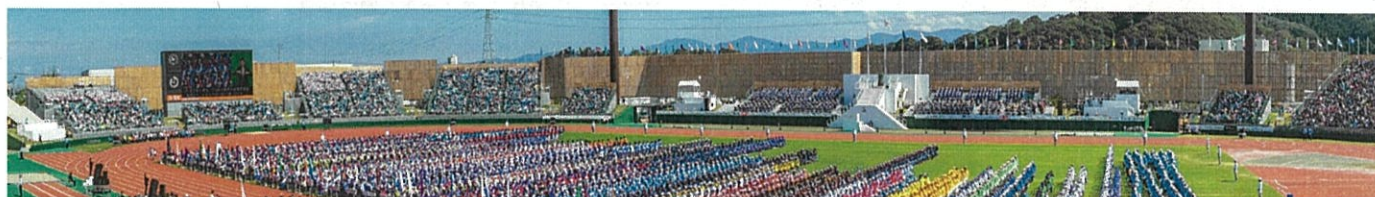
写真は、主催者選定プログラム。
 公募プログラム：マーチング&バトン、太極拳演武、民謡、YOSAKOI演舞、舞踊体操
 企画プログラム：競技かるた紹介、障スポ競技PR、はびねす音頭、はびねすダンスなど



2 開・閉会式の開催

選手団を応援する観覧者

満員の観客が選手団を迎える。
 小中学生による都道府県応援団も選手団に大きな声援を送る。



障スポ開会式

【参加者数】

	開会式	閉会式
国体	25,344人	15,030人
うち観覧者数	9,544人	7,124人
障スポ	23,908人	18,270人
うち観覧者数	10,802人	6,255人



都道府県応援団

障スポ開会式の観覧者数が国体開会式の人数を上回る。



3 環境整備 -競技会場の整備-

<整備方針等>

- ・既存施設を活用
- ・真に必要な施設に限定
- ・施設基準を満たす

県の施設

【福井運動公園】

○ 9.98スタジアム(陸上競技場)

<開閉会式・陸上>

- ・トラック・フィールド改修
- ・メインスタンド改修
- ・照明設置
- ・大型映像装置設置 など

○ 体育館

<ハンドボール・バスケットボール・車いすバスケットボール>
・建替 (・メイン・サブアリーナ ・トレーニング室 など)

○ テニス場

<硬式テニス>

- ・コート改修(12面→16面)
- ・照明設置 など

○ 野球場

<高校野球>

- ・スコアボードLED化 など

【その他施設】

○ライフル射撃場 <ライフル射撃> ・10m射撃場新築

○武道館 <柔道・剣道> ・競技場等改修

○クレー射撃場 <クレー射撃> ・射場改修

○トリムパークかなづ体育館 <バレーボール> ・床研磨、照明取替

○丹南総合公園野球場 <軟式野球> ・野球場新築

○テクノポート福井総合公園スタジアム <サッカー> ・天然芝改修

○テクノポート福井芝生広場 <サッカー> ・広場拡張

○久々子湖漕艇場 <ボート> ・コース改修、艇庫整備



3 環境整備 -競技会場の整備-

市町の施設

市町	区分	施設名	競技名
福井市	改修	福井市わかばテニスコート	テニス ソフトテニス
	"	福井市体育館	バスケットボール ハンドボール
	"	福井競輪場	自転車(トラック)
	"	福井市きららパーク多目的グラウンド	ソフトボール
	"	福井市スポーツ公園野球場	高校野球
敦賀市	改修	敦賀市総合運動公園プール	水泳(競泳)
	"	敦賀市総合運動公園野球場	軟式野球
	"	敦賀市きらめきスタジアム	ソフトボール
小浜市	改修	小浜市民体育館	ウエイトリフティング
	"	小浜市営野球場	軟式野球
	"	小浜市総合運動場多目的グラウンド	ラグビーフットボール
大野市	改修	エキサイト広場総合体育施設体育館	相撲
勝山市	新築	勝山市体育館ジオアリーナ	バドミントン
鯖江市	改修	鯖江市総合体育館	なぎなた
あわら市	改修	あわら市農業者トレーニングセンター	バレーボール

市町	区分	施設名	競技名
越前市	建替	武生中央公園体育館	フェンシング
	改修	武生中央公園庭球場	ソフトテニス
	"	武生東運動公園ソフトボール場	ソフトボール
坂井市	改修	三国運動公園陸上競技場	サッカー
	"	三国運動公園人工芝グラウンド	サッカー
	"	丸岡スポーツランドサッカー場	サッカー
	"	丸岡スポーツランド人工芝グラウンド	サッカー
	"	三国体育館	バレーボール
	"	丸岡体育館	バレーボール
永平寺町	改修	永平寺緑の村 ふれあいセンターアリーナ	バスケットボール ハンドボール
	"	松岡中学校体育館	バスケットボール
	"	松岡総合運動公園 you me パーク	ソフトボール
南越前町	改修	桜橋総合運動公園野球場	軟式野球
越前町	改修	越前町営朝日総合運動場	ホッケー
美浜町	改修	美浜町総合運動公園野球場	軟式野球
おおい町	改修	おおい町総合運動公園	軟式野球

計 31施設 (改修29 新築1 建替1)



3 環境整備 -おもてなしトイレの整備-

おもてなしトイレ整備 (H28～H29)

競技会場等となった県有施設のトイレ洋式化等を2年間で実施
(オストメイト対応設備、温水洗浄便座、擬音装置の設置を一部含む)

- ・選手や観覧者等が快適に過ごせる環境づくり
- ・新幹線開業を見込み、観光客等のおもてなし



・洋式化



・オストメイト対応設備

区 分	洋 式 化		オストメイト対応設備	
	施設数	基	施設数	か所
競技会場 (福井運動公園9.98スタジアム等)	9	240	6	19
練習会場 (ふくい健康の森等)	5	46	1	8
社会教育施設 (奥越高原青少年自然の家等)	3	70	2	2
文化施設 (県立音楽堂等)	8	55	8	16
	25施設	411基	17施設	45か所

* トイレの洋式化率 (H27) 34% → (H29末) 80%



3 環境整備 -障スポ競技用具等の整備-

競技会運営を円滑に行うために必要な用具等を整備

・競技用具

フライングディスク用具 22セット
サウンドテーブルテニス 3台 等

・競技会場のバリアフリー化

車いす 39台
ポータブルスロープ 30台
音声誘導装置 90台 等



大会後には、今後の障害者スポーツの普及・振興やバリアフリー環境向上等のため、しあわせ福井スポーツ協会、特別支援学校等において有効活用



4 融合 -融合機運の醸成-

障スポ体験・交流

障スポ競技の体験会

参加者数	平成28年度	5校	161人
	平成29年度	10校	798人
	平成30年度	16校	1,321人

はぴりゅうフェスタ

参加者数	H28.12.23~24	10,700人
	H29.12.9~10	11,900人
	H30.12.16	9,500人

トップレベルの車いすバスケットボール チームによるエキシビジョンゲーム

開催日	H28.8.6~7
参加者数	638人

開催1年前を機に、体験交流などを実施

車いすバスケット日本代表選手による講演
代表選手と車いすバスケットを事前練習した
中学生との交流ゲーム

開催日	H29. 9. 9	参加者数	150人
-----	-----------	------	------



左:車いす
バスケットボール

右:卓球バレー



左:融合PVを
上映

右:アスリートに
よるトークショー



白熱したプレー



左:講演

右:交流
ゲーム



4 融合 -融合機運の醸成-

国体・障スポ選手が団結 H29~

障がいのある選手とない選手が同じ会場に集合し、一つのチームふくいとして団結



国体・障スポ団結会
H29.9.21県営体育館



チームふくい新年度総決起集会
H30.4.24県営体育館



4 融合 -①いっしょに観戦-

<車いすバスケットボール> 県営体育館(福井市)

本大会の開催 10月7~8日

- ・国体バスケットボール(10/1~5)終了後に、車いすバスケットボールを開催
- ・福井県対岡山県の試合には1,400人が観戦。両チームに熱いエールを送る
- ・福井県以外の試合にも多くの方が観戦



福井県 対 岡山県の試合を応援する観客



4 融合 -①いっしょに観戦-

選手団バスなどを活用した送迎(過去最大)

- ・市町の国体部局が小中学校やスポーツ少年団などに、また、県国体推進局が団体などに障スポ競技の観戦を依頼
- ・選手団バスの副次利用などを行い、観客を送迎

<バス副次利用のイメージ>

朝 宿泊施設 → 競技会場

日中 競技会場 ⇄ 学校等

夕方 競技会場 → 宿泊施設

送迎実績 212台 7,457人



陸上競技を観戦する小中学生



フットベースボールを観戦する保育園児



4 融合 -②いっしょにスポーツ-

県民スポーツ交流期間中にデモンストレーションスポーツを開催

・デモスポ36競技のうち29競技に、初心者や高齢者、障害の有無に関係なく誰でもデモスポに参加できる部門を設定(全国初)

	選手・監督	大会関係者	観覧者	計
全体(36競技)	11,376人	2,225人	5,103人	18,704人
うち交流の部(29競技)	4,869人			



一般体操



スティックリング



4 融合 -②いっしょにスポーツ-

国体イベント事業への障害者の参加(過去最大)

国体の機会に、会場地市町におけるスポーツの普及・推進の一環として、中央競技団体が主体となって、競技の魅力を広くPRするとともに、国体の充実・活性化を図る。

主催：日本スポーツ協会、中央競技団体。主管：都道府県体育協会など、必要に応じて、主催・主管・協力として会場地市町を加えることができる

(1) タグラグビーによる交流

期日：9月29日(土) 9:30~11:30

場所：小浜市総合運動場屋内多目的広場

内容：特別支援学校の生徒9人と小浜市内の高校生18人がタグラグビーを通じて交流



タグラグビーゲームでの交流

(2) 車いすバスケットボールエキシビジョンゲーム

期日：10月4日(木) 14:05~14:35

場所：福井県営体育館メインアリーナ

内容：日本代表選手などの招待選手と地元チームによる車いすバスケットボールエキシビジョンゲームを実施
参加者数：250名



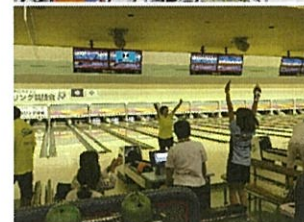
エキシビジョンゲームの実施

(3) 福井ふれあいボウリング

期日：10月7日(日) 10:00~12:00

場所：スポーツプラザWAVE40

内容：全日本ナショナルチーム、福井県代表選手および応募した市民が、障害の有無に関わらずボウリングを通じて交流
参加者数：55人(うち障害者29人)



選手との交流



4 融合 -③みんなでサポート-

国体選手等が障スポ選手をサポート

バレーボール、ソフトボール、バスケットボールなどの高校生や社会人チームが、障スポの福井県代表チームの練習パートナーを務め、大会の応援も実施

※練習パートナー

バレーボール	北陸高校、金津高校、武生商業高校、県庁バレーボール部
ソフトボール	国体成年男子、少年男子(啓新高校)、県庁ソフトボール部
バスケットボール	社会人チーム、(県庁、県警、市役所、民間企業の職員)
サッカー	県庁サッカー部
車いすバスケ	福井大学 等



国体強化校との練習試合



国体選手による応援

国体選手からの激励と障スポチームからのお礼



4 融合 -③みんなでサポート-

障害者が制作した商品の販売

国体・障スポへの参加が大きなチャレンジと考え、社会福祉法人福井県セルプを中心に県内障害者団体を取りまとめて、各はぴりゅう広場で障害者団体が商品を販売。また、国体の選手監督に参加賞として商品を配付

<販売場所>

開閉会式会場(福井運動公園)
国体・障スポ競技会場

<販売時期>

国体会期、障スポ会期
競技会開催時

<販売品目>

飲食物(弁当、お茶、菓子)、
小物類(和紙グッズ、玩具)など



福井運動公園のはぴりゅう広場で販売(8小間)。このほか、キッチンカーでの販売も実施



5 大会運営 -輸送交通-

1. 国体・障スポ 参加者の主な送迎手段

- 計画バス（宿舎や学校などから会場への送迎に使用）
選手団、式典出演者、サポートボランティア
競技観戦児童・生徒など
- シャトルバス（駅・駐車場から会場への送迎に使用）
一般観覧者、一般ボランティアなど



計画バス（福井運動公園外周道路）

2. バスの使用台数（延べ台数） （単位：台）

区分	バス使用台数 (計画バス+シャトルバス)	（計画バス+シャトルバス）	
		県内	県外
国体（会期前含む）	4,845	2,853	1,992
障スポ	2,248	1,342	906
合計	7,093	4,195	2,898



シャトルバス（JR福井駅西口）

3. 交通総量抑制対策

<会場周辺道路の混雑緩和のための対策>

- ①地元の方……マイカー使用の自粛
- ②周辺事業所…仕入れ等の日時の調整
- ③一般通行者…迂回路の利用
- ④一般県民……メディアによる広報・PR



5 大会運営 -弁当・医療救護-

○弁当メニュー：食材には、いちほまれ、ふくいポーク、里芋、梅、越のルビーなど多くの県産品を使用



- ①上庄里芋の煮物
- ②とみつ金時入り野菜かき揚げ
- ③揚げごはん
- ④福井のソースカツ
- ⑤福井梅の日の丸ごはん
- ⑥豚となすのにんにく醤油炒め
- ⑦焼鯖寿司
- ⑧厚揚げ煮
- ⑨越のルビーのゼリー



- ①焼鯖、玉子焼き
- ②エビとイカのチリソース
- ③とみつ金時の甘煮
- ④煮物
- ⑤福井梅ご飯
- ⑥切干し大根の酢がけ
- ⑦わかめご飯
- ⑧海鮮焼売、ほうれん草のごま和え
- ⑨ふくいポークのそぼろご飯

国体・障スポ
開会式式典弁当

障スポ 閉会式式典弁当

○救護所運営

区分	医療従事者数 (医師、看護師等)
式典リハ(国体・障スポ)	38
国体	960
障スポ	161
合計	1,159



救護活動



5 大会運営 -配宿-

宿泊実績（選手・監督、大会役員、特別招待者、視察員、報道員）

（単位：人）

区分	実人数	延べ人数
国体	35,449	138,135
障スポ	5,832	26,818
合計	41,281	164,953



ホテル玄関での歓迎のぼり旗



食事風景



6 広報 -マスコットの活用-

▼広報活動 2,000回



JR福井駅



ショッピングセンター

▼メディア出演



テレビ出演

▼PRデザイン



広報看板(JR敦賀駅)

▼大会グッズ



都道府県応援団グッズ
(帽子・スティックパルーン・バック)

▼募金グッズ



ぬいぐるみ・ピンバッチ



6 広報 -はぴねすダンスの活用-

県広報活動だけで延べ10万人がダンスを踊る。市町もダンスを広報し、県民に定着

- ◆ダンスによる広報活動 参加者 63,000人
- ◆ダンス出前講座 参加者 32,000人 / 450回
- ◆ダンスリーダー 認定数 2,000人

坂井市磯部小学校



福井市尾上幼稚園



福井市清水南地区敬老事業



各種イベントとの連携



7 おもてなし -運営ボランティア-

◇運営ボランティア

県・市町合わせて、約1万人(延人数)参加



会場美化



タオル配布



ドリンクサービス

◇親子ボランティア(ボランティア参加者の募集に当たり、親子での参加者を募集)

ボランティア数 34組(73人)

うち障害をもつ家族22組(国体総合開会式21組、障スポ開会式1組)



入場口



総合案内



7 おもてなし -情報支援ボランティア-

聴覚障がい者への情報保障をはじめ、すべての人に分かりやすい情報の提供

- ・国体・障スポの開・閉会式会場および障スポの競技会場等において、手話や要約筆記、筆談により、競技の進行状況や会場アナウンス等の情報を分かりやすく提供するとともに、コミュニケーション支援を実施

情報支援ボランティア登録者 635人（手話456人、要約筆記PC41人、要約筆記手書41人、筆談97人）
国体・障スポ期間中 延べ1,200人が活動



開・閉会式における大型映像装置
を使用している情報保障



競技会場の情報保障席



広場等における情報提供



7 おもてなし -選手団サポート-

全国障害者スポーツ大会に参加する選手団の介助・誘導等の支援

- ・選手団サポートボランティアとして、福井県内の大学、短大および医療・看護・福祉系の専門学校を合わせた15校の学生で1,346人が参加。大会期間中、延べ5,000人が活動

【活動内容】

- ・駅での選手団の来県・離県時の歓送迎
- ・選手の荷物管理、弁当・毛布の配布
- ・選手団控所や各競技会場、広場への案内・誘導、移動のサポート
- ・選手の応援、選手との交流活動



JR福井駅での選手団のお出迎え



車いすを使用する選手の介助



競技中の選手への応援



7 おもてなし -歓迎装飾など-



歓迎装飾



企業・団体などによる協力



クリーンアップ運動



花いっぱい運動

この他、はぴりゅう広場での特産品販売、総合案内所での情報提供、郷土料理のふるまいなどを実施



7 おもてなし -いちほまれPR-

いちほまれの美味しさを全国に発信

今年、本格販売を開始した「いちほまれ」について、国体・障スポで全国から来県した選手・関係者等にPRし、全国的な知名度を向上

「いちほまれ」を食べた選手等から、「もちもちしていて美味しかった。また食べたい」などの声が多数寄せられ、とても好評でした

- 選手等の宿泊施設の食事で提供
 - ・350の宿泊施設で3万2千人に提供

○競技会場でのふるまい

- (1)メイン会場(5日間)
 - 炊きたてごはんのふるまい(2,500食配布)
- (2)各市町会場(13会場)
 - おにぎりのふるまい(2,750個配布)



宿泊施設でのPR、いちほまれを食べる選手



メイン会場「はぴりゅう広場」



市町会場



7 おもてなし -文化プログラム-

県や各市町の文化プログラム事業を開催

- ・本県の伝統産業や郷土芸能、食など様々な文化とその魅力を発信することを目的に実施
- ・「幕末明治福井150年博」を特別記念事業に位置付け
- ・ホームページやパンフレット等で広く県内外にPR

開催期間：平成30年4月1日～12月31日 事業数：419事業



夏季企画展「スポーツと文学」(県ふるさと文学館)



福井城址しあわせプロジェクションマッピング(福井県庁舎)



7 おもてなし -文化プログラム-

幕末明治福井150年博 ～ニッポンの夜明けは福井から～

- 山里口御門の開門に合わせての開幕(3月24日)から11月末までの8か月にわたり、「幕末明治の福井」という共通テーマのもと、県と市町等が連携
- 県内全域で切れ目なく開催

62の展示会と165回のイベントに、全体で64万人が参加

- ・県や全市町の博物館等で、「本物」の資料をもとに、多くの先人とその功績を紹介



- ・「はびりゅう広場」等にて来場者に150年博PR



- ・特別な映像を制作・公開し、本県先人とその功績をアピール



- ・メイン展示館をお得に観覧できる「プレミアムパスポート」を発行
- ・あわせて3館をめぐる福井市内ラッピングバスを運行
- ・リレー講演会を県内各地で開催 など

県内外から多数参加



8 全体経費 -見込額-

国体・障スポの開催準備、運営、競技力向上を実施 (単位：百万円)

区分	事業費計
国体・障スポ運営費 ①	7,762
国体	5,501
障スポ	2,261
競技力向上対策費 ②	5,067
国体	4,982
障スポ	85
小計 (①+②)	12,829
施設整備費 ③	19,124
合計 ④ (①+②+③)	31,953

県実施分を計上。対象年度は平成23年度～30年度。
23年度から29年度までの額は決算額。30年度の額は2月補正後予算額



9 募金・協賛

募金・協賛額が目標額の5億円を超え、約7億6千万円(物品協賛含むと約9億7千万円)

	種類	件数	金額	備考
募金	企業・団体募金	253社	55,312万円	企業分ふるさと納税含む
	個人募金			
	ふるさと納税	166人	599万円	
	県民募金	344人	331万円	
	職場・個人	20件	168万円	
	募金箱	121箱	85万円	
	小計		1,183万円	
	ふるさと納税(再掲)	1,014人	0万円	(個人・企業分再掲:4,173万円)
	その他			
	大会特別協賛	1社	10,000万円	大同生命株式会社
募金グッズ	18,249個	263万円		
小計		10,263万円		
	①募金計		66,758万円	
協賛金	※実行委員会が国体・障スポをPRする広告事業に使用する財源			
	国体パートナー	4社	2,000万円	1000万円の協賛金を提供する企業・団体(自スポ協が募集し、開催県に500万円)
	オフィシャルスポンサー	6社	3,000万円	500万円の協賛金を提供する企業・団体(開催県で募集)
	オフィシャルサポーター	45社	4,500万円	100万円の協賛金を提供する企業・団体(開催県で募集)
	②協賛金計		9,500万円	
	募金・協賛金 合計(①+②)		76,258万円	
物品	※実行委員会が国体・障スポ準備に使用する物品の提供			
	国体パートナー	1社	500万円	
	オフィシャルサプライヤー	26社	19,884万円	100万円以上の物品を提供する企業・団体(開催県で募集)
	大会協力企業	26社	649万円	10万円以上100万未満の物品を提供する企業・団体(開催県で募集)
	③物品計		21,033万円	
	総計(①+②+③)		97,291万円	



10 成果の共有 -はぴりゅうフェスタ-

選手や式典出演者、ボランティアなどが参加した感謝イベント「はぴりゅうフェスタ」を開催し、県民一人ひとりの心に刻まれたスポーツに対する興味、融合の精神を共有

開催日 H30. 12. 16
場所 サンドーム福井
参加者数 約1万人



10 成果の共有 -意見交換会-

国体・障スポの成果について意見交換し、今後の県勢の更なる発展と元気なふるさとづくりに活用



市町、競技団体、経済・福祉関係団体との
意見交換
(H30.12月に4地区に分けて開催)



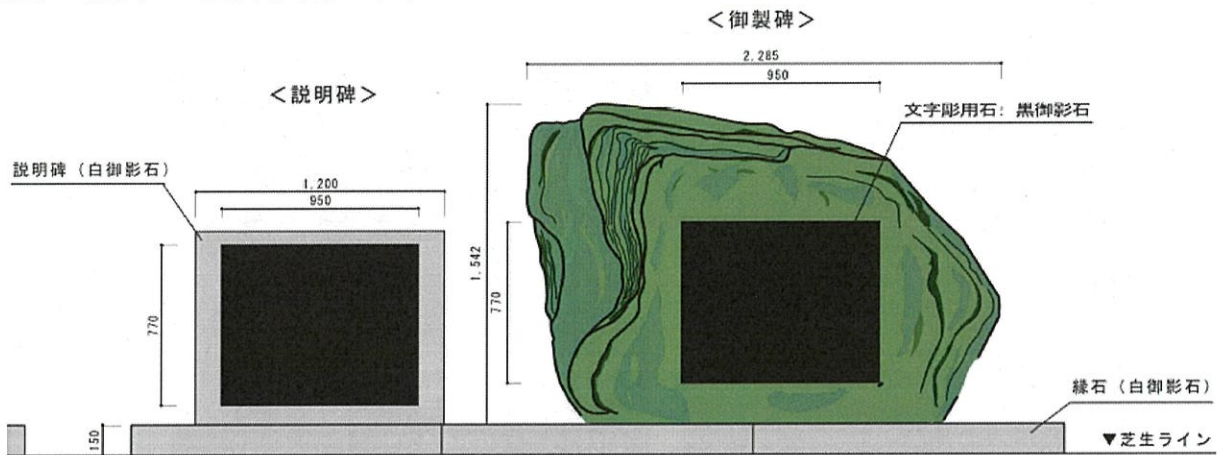
式典出演団体との意見交換
(H31.1.25)



10 成果の共有 -御製碑の建立-

国体の成功と感動を後世に伝え、永く県民の心に残すため、御製碑を建立

御製 　　あらし迫る開会^{まへ}前の競技場福井の人ら広がりをもとめる
 建立場所 福井運動公園



第73回国民体育大会御製碑除幕式

開催日 H31. 3. 5
 場所 福井運動公園



11 福井国体・障スポ以降の選手の活躍

福井国体・障スポ以降も、国内大会、国際大会で本県選手が活躍

主な国内大会		※日本選手権級の大会を抜粋		(福井国体の成績)	
優勝	ボート	全日本選手権大会	男子舵手なしフォア	荒木祐作 長田福馬 武田和樹 田中雅人	舵手つきフォア 1位
			女子舵手なしクドルプル	納田麻妃 河原孝多 冨田千愛 白井里咲	舵手つきフォア 1位
	ボクシング	全日本選手権大会	フライ級	柏崎刀翔	ライトフライ級 1位
	自転車	全国都道府県対抗選手権大会	ケイリン	市田龍生都	ケイリン 1位
			チームスプリント	荒井佑太 岸田剛 市田龍生都	チームスプリント 1位
	軟式野球	全日本軟式野球大会		セーレン軟式野球部	団体 4位
	フェンシング	全日本選手権大会	男子サーブル	徳南堅太	男子団体サーブル 1位
	バドミントン	全日本総合選手権大会	女子シングルス	山口 茜	女子団体 2位
アーチェリー	全日本選手権大会	男子個人	今井雅樹	男子団体 5位	
		女子個人	久原千夏	女子団体 3位	

主な国際大会				(福井国体の成績)	
優勝	自転車	日韓高校対抗自転車競技大会	1kmタイムトライアル	市田龍生都	ケイリン 1位
優勝	陸上	2018アジアパラ競技大会	車いす100m	伊藤 竜也	(障スポ期間中にアジアパラ競技大会へ出場)
3位	バドミントン	WBCワールドツアーファイナル	女子シングルス	山口 茜	女子団体 2位
3位	ボクシング	女子世界選手権大会	ライトフライ級	和田まどか	フライ級 5位タイ
5位	ウエイトリフティング	EGATs CUP選手権大会	女子55kg級	細見綾香	スナッチ・C&J 8位

※その他：陸上競技 アジア陸上競技選手権大会 (H31/4/21~24 予定) 日本代表に選出 金井大旺(110mH) 村島 匠(800m)



12 両大会のあゆみ

年	項目名
H21	第73回国民体育大会の本県招致を表明
	第73回国民体育大会の招致に関する決議
H22	第73回国民体育大会福井県準備委員会を設立
H23	会場地市町選定(H27までに第一次～第四次選定等を実施)
H24	大会愛称「福井しあわせ元気国体」、スローガン「織りなそう カと技と美しさ」を決定
H25	マスコットキャラクターデザイン、愛称「はびりゅう」を決定
	第73回国民体育大会開催県に内定
H26	「新福井県民歌」「はびねすダンス」を発表
H27	第73回国民体育大会、第18回全国障害者スポーツ大会開催県に正式決定
	「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会を設立
	開催決定記念決起大会を開催
	募金・協賛の募集を開始
H28	「福井しあわせ元気国体」プレ大会を開催(～H30)
	運営ボランティア、情報支援ボランティアの募集を開始
	開催2年前記念 カウントダウンボードを設置



12 両大会のあゆみ

年	項目名
H29	国体と障害者スポーツ大会の融合を発表
	公式ポスターデザインを決定
	「明治150年記念」の冠称を決定
	開催1年前記念 はびりゅうフェスタ、車いすバスケットボール体験交流会を開催
H30	「チームふくい」新年度総決起集会を開催
	「福井しあわせ元気大会」プレ大会を開催
	開催100日前記念 ダンスコンテスト決勝戦を開催
	「チームふくい」結団・壮行式を開催
	開催30日前記念 県民スポーツ交流期間スタートアップイベント、炬火集火式を開催
	「福井しあわせ元気大会」福井県選手団結団式を開催
	「福井しあわせ元気国体」、「福井しあわせ元気大会」を開催



